

イ 親子関係診断テスト

父親——危険地帯；不一致

母親——危険地帯；積極的拒否，不一致

準危険地帯；消極的拒否，不安，期待，矛盾，溺愛

総合的な解釈

ア 親の強い枠組の中で「いい子」として育ってきたために，自我が未成熟で，社会的適応力も乏しく，外界に対する不安が大きい。

イ 理想自己と現実自己との葛藤^{かつとう}の中にあり，防衛機制を適切に働かすことができず，情緒のコントロールがうまくいかない状態にある。

ウ 欲求不満への耐性が弱く，現実面から逃避している。

(5). 診断

① 「いたずら」，「第一反抗期」，「けんか」の体験の少ない生育史から，親の強い枠組の中で「いい子」として育ってきたために，自立心が弱く，社会的適応能力も低い。

② 高校入学後，自我が未熟なために，青年期の発達課題の「両性の友人との新しい成熟した人間関係」，「両親や他のおとなからの情緒的独立の達成」，「行動を導く価値感や倫理体系の形成」に挫折し，対人不安に陥り，孤独傾向をおびた神経症的登校拒否（Aタイプ）を引きおこしたと思われる。

(6). 指導方針

① 本人に自律訓練法を用い情緒の安定を図る。また治療的カウンセリングを続け，自己洞察を図り，自我の成長をうながす。

② 友だちとの遊びを楽しむ態度や技術を助長する。

③ 集団・グループ場面などで社会的技術や態度を訓練する。

④ 拒否，不一致，矛盾，不安などの養育態度を改善する。

(7). 指導経過